

デマンドタクシーの運行方法の変更について

1 趣旨

町デマンド交通については、平成17年に運行を開始して以降、現在までに延べ45万人以上の方にご利用いただいております。町民の皆様の買い物や通院などの日常生活に必要な移動手段として定着しているところです。

昨年8月にLRTが開業し、高頻度の運行により宇都宮方面へのアクセスが向上したことで、路線バスやデマンド交通などの二次交通の充実が課題となっています。

このようなことから、デマンド交通の更なる充実を図るため、通常便の運行台数を現在の3台から4台に増台するとともに、交通ネットワークの強化を図るため、LRT沿線の乗り継ぎ施設である清原地区市民センター前トランジットセンター（以下「清原TC」という。）を新たに目的施設として追加することについて協議するものです。

また、この変更に伴い、現在、区域外の目的施設としている芳賀赤十字病院（以下「日赤」という。）への運行については、利用状況をふまえ、車両の効率的な運用や通常便の充実などの観点から運行を廃止とすることについて、併せて協議するものです。

2 変更の内容

(1) 清原TCへの乗入れについて（区域外目的施設の追加）

①追加の理由

町内には、LRTと公共交通や自動車などの乗り継ぎ施設である「芳賀工業団地トランジットセンター」が整備されていますが、町南部エリアからのアクセスについては、同じく乗り継ぎ施設である清原TCが地理的に近いこと、また、サービスレベルの高いLRTと接続することによる利便性の向上やネットワークの強化が期待できることから、新たに区域外の目的施設として追加するものです。**別図**参照

②利用料金について

運賃協議会における協議により決定します。



【参考】清原TC施設概要図

(2) 日赤便の廃止等について

①利用状況について

日赤の移転に伴い平成31年4月から運行を開始し、利用者数は年間600人前後で推移しています。一定の利用需要があるものの、目的地が限定されるため時期によって利用が偏ることや予約が入らない時間帯が多いことなどから、通常便と比較した場合の稼働率は低く、一人当たりの運送コストが高い状態となっています。

【利用状況】

○年度別利用者数（延べ人数、R5年度は見込）

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
通常便	13,130	11,501	12,696	11,724	12,500
日赤便	670	596	644	615	600

○年度別平均稼働率（通常便:25便/日、日赤便:6便/日、R5年度は見込）

年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
通常便	87.4%	79.2%	81.8%	80.3%	80.0%
日赤便	45.1%	31.6%	31.8%	32.4%	30.0%

○運送コスト比較

	1人当たりの運送コスト	備考
通常便	約1,200円	(車両借上料-利用料)/利用者数
日赤便	約8,000円	

※オペレーター人件費、管理費等を除く

②廃止の理由

上記の現状を踏まえ、車両を効率的に運用し町内の移動環境の充実を図るため、日赤への運行を廃止し通常便を4台運行とします。これにより、特に稼働率の高い午前中の需要や、新たに目的地に追加する清原TCへの運行に対応できるよう運行方法を見直すこととします。**参考資料**参照

なお、今後の日赤への利用については、「高齢者福祉タクシー事業」の拡充や、新たに創設の検討を進めている「通院費助成事業」により補完することとします。

3 今後の予定

令和6年 2月 運賃協議会の開催（書面による開催を予定）
2月～3月 法定手続、周知等
4月～ 運行方法変更の実施